

学校 教育 目標	■■■ 互いを思いやり、認め合って、自分の生き方を創り出すことができるようにします ■■■ ○意欲と自信をもち、主体的・対話的で深い学びを目指す子どもを育てます。(知) ○自分や仲間のよさを見つけ、豊かな関わり合いをもてる子どもを育てます。(徳) ○自分や仲間の生命と身体を大切にすることを育てます。(体) ○地域を愛し、共に歩むことができる子どもを育てます。(公) ○社会に目を向け、これからを考えることができる子どもを育てます。(開)				
	学校概要	創立 128 周年	学校長 高橋 実	副校長 伊瀬知 大記	2 学期制
児童生徒数: 598 人		主な関係校: 新田中学校、新羽中学校、早淵中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	新田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子 ○すべての学校において授業公開を実施し、相互理解・研修を深める。 ○小中合同で児童・生徒指導、危機管理対応研修を実施し、スキルアップを図る。 ○小中のなめらかな連結に向け、児童支援・生徒指導専任、教務主任間で充実した情報交換・共有を図る。 ○児童が進学する中学校3校と積極的に交流し、中1ギャップの解消を図る。
<自分づくりに関する力>		新田中学校 綱島小学校 新吉田小学校 新吉田第二小学校

中期 取組 目標	『あかるい学校』『たのしい授業』その基盤としての『安全・安心な毎日』
	・自他のよさに気付き認め合いながら、よりよい自分づくり・豊かな人間関係を目指す子どもたちを育てます。【あかるい学校】 ・主体的・対話的で「深い学び」を取り入れ「考える力」を育む授業を通して、意欲や自信のある子を育てます。【たのしい授業】 ・安全教育を充実させ、危機予防意識をもち自らの安全を自分で守ろうとする子を育てます。【安全・安心な毎日】 ・「まち」の人・物・事と豊かにかかわり、「まち」を愛し地域の期待に応える子を育てます。【地域とのあたたかなかかわり】 ・謙虚に学ぶ教職員、子どもとともに歩む教職員をさらに増やしていきます。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①「進んで学ぶ」「友だちと協力して学ぶ」「自分らしく表現する」ことを通して、深い学びを目指し授業改善を図る。 ②子どもたちの思いや願いを生かして、学び続ける子を育てる。 ③子どもたちの学習状況を適切に見取り、個に応じた指導に生かしていく。
担当 教育活動チーム	
豊かな心	①道徳の時間、各教科等、さまざまな教育活動において、自他ともに尊重し大切にすることを育てる。 ②YPアセスメントシートの活用と支援の検討を行い、一人ひとりの子どもたちの心情理解に努め、共感的に接し、よさを伸ばしていく。 ③本物と出合うことのできる芸術体験の機会を設定し、豊かな情操を養う。
担当 児童指導チーム	
健やかな体	①心と体を一体ととらえ、運動や健康・安全、食や睡眠について理解し実践していくよう支援する。 ②サッカー教室、ラグビー教室等、外部の力を活用し、体を動かすことの楽しさを知り、日常的に運動に親しめるようにする。 ③晴れた日は体を使った外遊びを勧め、休み時間に子どもがいっぱいの校庭を実現していく。
担当 健康安全チーム	
児童指導	①スタンダードを基に子どもたちのよりよい生き方を支援していく。 ②子どもの問題や課題を学年等チームで対応し、個に応じたぶれない指導を心がけていく。 ③子どもたちを共感的にとらえ、よさを伸ばす指導・支援を心がける。
担当 児童指導・人権・道徳	
安全管理	①実態や要請に応じて、防犯・防災の対策が取れるよう訓練を工夫する。 ②「安全の日」を設定し、施設面の点検を確実にを行い危険なところを直すとともに、安全教育を充実する。 ③危機管理能力、危険予知能力の充実を図り、非常時に自分が何をすべきか判断できる職員や子どもを育成する。
担当 防災安全・環境・保健	
地域連携	①中期学校経営方針・学校の教育活動について、理解が深まり協力が得られるように、家庭や地域に向けて学校だより、HP、メールなどで、情報の発信を心がける。 ②地域行事に積極的に参加し、子どもたちの地域での様子をとりえるようにする。 ③地域の方と連携し、登下校時の見守り活動を行う。
担当 教務・主幹	
いじめへの対応	①日常的なあいさつや声かけ、規範を育てる授業や活動を通して、いじめの起きにくい学校を目指す。 ②互いを尊重する集団づくり、友達のよさに目を向ける仲間意識を育てる。 ③よいことを認め、正しくないことを許さない規範意識がもてるよう、教師の指導力をつける。
担当 児童指導・学級・学年	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①授業力、教師力を高めるよう、主幹教諭を中心に重点研・児童指導の体制を構築していく。 ②学年研の充実を図り、授業と児童指導について、学年で歩調を合わせた指導を行う。 ③学級・学年のことも学年・学校全体で考え、全校的な視野から指導を考えていく。 ④教職員一人一人が充実した人生を送ることが未来を担う子どもたちを育てることにつながると考え、時間対効果や労力対効果の視点をもって、取組の精選を行う。
担当 教務・学年・重点研	